

第68回総会研究集会

テーマ：国立大学図書館協会ビジョン 2020 から 2025 へ ―振り返りと展望―

1. 趣旨

国立大学図書館協会は、第 63 回総会(2016 年6月)で「国立大学図書館機能の強化と革新に向けて～国立大学図書館協会ビジョン 2020～」を採択し、各会員館と各委員会はビジョンに掲げられた目標の達成に向けて活動をしてきた。その後、ビジョンの節目となる 2020 年が近づいた 2019 年に総務委員会の下に次期ビジョン策定小委員会を設置し、次期ビジョン案の策定を進めてきた。本研究集会では、ビジョンの採択を契機として行われてきた5年間の活動を総括するとともに、次期ビジョンにおける課題・達成目標、この間のそして今後予想される環境変化への対応方策などについて、未来志向の観点から意見交換したい。

2. 運営担当者

進行： 金 藤 伴 成(東京大学附属図書館情報管理課長)
記録： 成 澤 めぐみ(筑波大学学術情報部情報企画課長)
赤 澤 久 弥(大阪大学附属図書館箕面図書館課長)

3. 内容

- 趣旨説明 金 藤 伴 成 (5分)

- 第1部 「ビジョン2020」を振り返る
 - ビジョン 2020 がもたらしたもの (10分)
竹 内 比呂也(千葉大学副学長・附属図書館長)
 - ビジョン 2020 に係る委員会活動の総括と各会員館の取り組み (15分)
国立大学図書館協会事務局

- 第2部 「ビジョン2025」が目指すもの
 - 次期ビジョンに求めるもの (10分)
尾 上 孝 雄(大阪大学理事・副学長・附属図書館長)
 - 次期ビジョン(案)の概要 (10分)
村 上 健 治(神戸大学附属図書館事務部長)
 - 意見交換 (50分)
村 上 健 治
佐 藤 初 美(北海道大学附属図書館管理課長)
山 中 節 子(京都大学附属図書館図書館企画課長)
富 岡 達 治(岡山大学附属図書館学術情報サービス課長)